

第25期 第2回 材料工学委員会 バイオマテリアル分科会

議事要旨

1. 日時 令和3年3月22日(月)17:00-19:00
2. 場所 Zoom Web 開催
3. 出席者(敬称略) 石原一彦、秋吉一成、宇尾基弘、大矢根綾子、春日敏宏、片岡一則、菊池明彦、岸田晶夫、田畑泰彦、中野貴由、塙 隆夫、丸山 厚、山岡哲二(オブザーバー)
欠席者(敬称略) 高原 淳
出席委員12名 欠席委員1名 オブザーバー1名
材料工学委員会: 山口 周 委員長
事務局: 加藤様・松田様

4. 議事

- (1) 山口材料工学委員長から「バイオマテリアル分科会への期待」、「マスタープラン・提言に向けて」の説明。

明るい話題を提供できるのはバイオマテリアル分野。ヒトが無機化し、長寿命化するのは一つのイメージ。バイオマテリアルのような国民に利益が得られるようなものは将来性があるので期待している。分野を超えた連携をしたほうが良い。人類共通の夢・人類全体の課題の提案が良い。個別の利益誘導はだめ。響く対象は広く捉える一方で、具体性が重要である。これまでの延長線上にないものが良い。「ヒューマノイド」と「生体組織そのものの再生」の相反する考え方を取り込むのも一案である。波及効果が重要である。材料によりブレイクスルーするようなストーリーがほしい。10~30年後に実現するような方向性を示してほしい。

- (2) 前回議事要旨確認(資料1)
各自理解いただきたい。
- (3) 分科会構成委員について(資料2)
各自理解いただきたい。
- (4) 分科会活動に関する注意(資料3)
各自理解いただきたい。
- (5) 材料工学委員会の活動報告(資料4)
各自理解いただきたい。
- (6) マスタープラン 2023 について(資料5)
各自参照いただきたい。例年であれば、2022年3月に提出。ただし、スケジュールは未決定。
- (7) 提言発出について(資料6)
各自参照いただきたい。提出するか否かは現状では不明。

(8) 主催シンポジウムについて (資料 7)

- ・ 埴委員長から 3 月 8 日に幹事会で話し合った内容を説明。
- ・ バイオマテリアル分科会はバイオマテリアル学会と直接結びつく必要はないが、しっかり結びつく必要がある (片岡委員)。
- ・ 分野をどう盛り上げていくのか、関連学会との連携も考慮する。
- ・ 次回名古屋での日本バイオマテリアル学会大会での日本学術会議シンポジウムは開催しない。
- ・ シンポジウムとマスタープランの内容については次回分科会で各委員から意見を集める。
- ・ 令和 4 年の夏をめどに学術会議シンポジウムを学術会議講堂で実施することを目途にする。

(9) 第 3 回分科会日程 (後日日程調整を行う)

- ・ 令和 3 年 5 月末日～6 月初旬に WEB 開催とする。

第 2 回 (今回) の議事録確認については、埴委員長一任とすることが了承された。

文責 岸田晶夫・中野貴由